

300人の未知なる挑戦の舞台裏。

【vol.6】社長インド旅のお土産も、土産話も重量級。

2025 WINTER

Produce by KAZUMA

Kazuma Co., Ltd.
105 Yamaki-cho, Fukuji-City, Fuku, 910-0123, JAPAN
TEL/FAX: (0776) 56-4006 / (0776) 56-4007



EVENT

新商品
NEW
リリース

【防災グッズの新定番】
A4サイズでわずか800gの
高断熱スマート寝袋が
クラウドファンディングで公開中!

カズマが開発した、アルミ系のハイブリッドテキスタイル「eco-fine」が寝袋になって新登場!わずか800gの軽さで収納はなんとA4サイズ、防災はもちろん、真冬の屋外イベントやスポーツ観戦などに重宝する高い断熱性と透熱性を合わせた機能寝袋です。広げればダブルベッドサイズで大人2人が寝られる布団に、シップを閉じれば寝袋、羽織れば大判ブランケットとしても活躍。アルミの力、ぜひご体感ください。

公開日 ~3/2(日)まで ※4月末から順次商品お届けとなります
販売場所 クラウドファンディングMakuake(マクアケ)

防災 アクティブ | 車中泊
A4サイズの、3wayなスマート寝袋

これが、
布団です。

公開日 ~3/2(日)まで ※4月末から順次商品お届けとなります
販売場所 クラウドファンディングMakuake(マクアケ)

世界初!
和紙100%
編みレースを
開発

自然の美しい景色と室内の
空間を緩やかに繋ぐ、
和紙100%の編みカーテン
が公開中。

累計販売1,000万円となったカズマの自然素材ブランド「KURASIKU」の和紙「kami」シリーズに新しい章が始動。今回挑戦したのは、生分解100%で高い機能性をもった和紙糸「キュアテックス®」を、伸縮性と意匠性のある「編み」で表現した超薄地カーテン「編(しま)」編みレースは光の減衰や角度によって多彩な表情を愉しめるのが魅力で、私たちカズマが創業以来誇りをもって深く追求し、高めてきた技術でもあります。その熟練した職人でも繊細な和紙糸を扱うのは本当に難しく、構想から製品化まで約3年を要しました。素晴らしい手仕事によって優れた機能も持ち合わせた和紙「編」、一度ご覧いただけたら幸いです。

公開日 ~1/6(月)~3/20(木)まで
販売場所 クラウドファンディングMakuake(マクアケ)

今注目の
県立大学祭に
参加

初☆地元の大学祭に出
店。学生や地域の人との
たのしい交流で大満足の
2日間。

2025年4月に恐竜学部が新設されることで今全国から注目を集める福井県立大学。今秋初めてこちらの大学祭に参加しました!ブースでは輪投げやお菓子釣りなど地域の子供たちでも楽しめる企画をご用意したほか、学生たちと積極的に交流する貴重な機会をつくることができました。今後も地元のイベントにどんどん出張予定!皆様ぜひお会いしましょう!

ムードラ
貸し出し中

大人気「ムードラ」を無
料レンタル中。品質の良
さと使い勝手をリアル体
感!

大人気のアートなレジャーシート「ムードラ」は、イベント等でよく嬉しいお声をいただきます。「直接見るとしっくりした作りなんだとよくわかるね」「これはずっと長く使えそう」など。そこで、もっと直接見て使っていただく機会を作りた!という思いのもと10月某日、休日の公園で無料レンタル企画を実施。お声がけいただいた方すべてにムードラを試していただきました。反応は上々!質の良いものは使っていて初めて伝わるものですね。今後も不定期で出展予定です。SNSで告知しますのでぜひご検討の方はお声がけください。

TateYoko Journal 2025WINTER
株式会社カズマ
〒910-0123 福井市八重巻町105
0776-56-4006

Tate&yoko MOVE

あきこ社長の念願叶っちゃった♡
ミラクルワールド・インドへの
テキスタイルの旅

インドはヒन्दウ教、イスラム教をはじめとした多様な宗教と文化、多様な民族がひしめくエネルギー溢れる国で、海外を飛び回っている我が社社長がずーっと行きたくて言っていた場所でもありました。経済的にも世界から注目されているインドの今をご紹介します!

01 発展が止まらないムンバイ。華やかな世界とスラムが共存する街。
02 1週間のホームステイ先はまるでホテル。お手伝いさんの作る料理は絶品!

03 1日目からインドの手仕事に心奪われ...豪華サリーを身に付けてパーティー♡

イベントで売っていた骨董品や民族衣装、アクセサリーや絵はすべて作家さん手作りのもの。サリーも手作業で作られていて染料もすべて天然染料で、幅1mの生地をなんと6mも使って作られています。繊細さと質のすばらしさに感動です!またまたディワリとよばれるお正月期間だったこととお夜の晩餐会におよばれ、入り口にはたくさんキャンディが灯されていてとても綺麗で豪華なセブパーティーでした!

05 インドのカーテンショップへ。柄のあるカーテンが主流で風水も重視。

インドのカーテンの仕立はタックが基本。柄は日本では無地が好まれますが、インドでは柄のあるデザインが主流です。どの家も清潔で、掃除は毎日。カーテンだって年に2回は洗濯するお宅が多くて、長くても5年くらいでカーテンを替えるのだそう。このお店にはコーディネーターさんが在籍しており、生地選びだけではなく立てもすべて担当してくれます。

Tate&yoko LIVE

播州織の産地で唯一無二のものづくり。
アパレルメーカー「tamaki niime」の
工房におじゃましました!

織物館の国内最大の産地であり播州織が盛んな兵庫県西脇市に工房を構えるアパレルメーカー「tamaki niime」。やさしい着心地を追求したファッションを展開し、一貫生産と少量生産にこだわってものづくりをしている。知る人ぞ知るブランドです。実はこのブランドの代表である玉木新雄さんは福井の勝山市出身。(恐竜が有名なところ)その玉木さんが福井市で講演をされたことをきっかけに、カズマのスタッフで「tamaki niime」の工房を見学させていただくことに。というわけで、初上陸の播州織の産地兵庫県へ!

ここはどこ?工房というより村みたい。
ここは工房というより、まるで村。家の外には高層ビル、じゃなくて田園風景。犬がいるの?と思ったら羊!モノづくりが生きていることや羊飼いが自然と一体となっている。独特なのにどこか懐かしくて心安らぐような、そんな素敵な環境。だから心ゆくまで美しいテキスタイルが生まれるんですね。

常識、非常識なんていう概念がない。
「他から見れば最悪ではないものでも、このブランドから見れば最悪であればいい」という玉木さん。例えば染色はすべて1点ものなので、量産品ではなく数メートルでも染められる試験機だけで十分。しかもその唯一無二の色づきはすべて、スタッフたちが自分なりの染め方を追求して色を調整しているので一つひとつ異なるんです。素敵ですよね。
仕事をしているというより「生きている」。
社員の皆さんは上下関係がなく本当に仲良しでアットホームな雰囲気。その日の朝も「皆で畑を耕してきよ」と泥だらけの足で楽しそうに喋っている様子も、「仕事は楽しければ意味のない良いモノづくりは生まれない」、「人生の大半は寝ている時間か働いている時間なんだから、ワクワクできて仕事が楽しくないとは!」と玉木さん。

ラグになるファブリックアート「タフティング」で
キッズアドベンチャー『おしごと大冒険』に出店。

子供にもつくりの楽しさを体験してほしいという思いから、10月某日、県内のショッピングモールで開催された、子供向けのお仕事体験イベントに参加。ショットガンのような道具で1点もののラグが作れる「タフティング」を実施しました。タフティングは打ち込む糸の色や素材を自在に組み合わせることで、絵画のような1点ものの絵柄が作れる最近話題のアート。さらに機械刺繍機も導入してランチョンマットやバッグに好きな刺繍ができるコーナーも用意しました。ものづくりの楽しさで目をキラキラさせる子供たちと楽しいひと時を過ごすことができました。